

**豊かに生きる力の育成**  
～自分を知ることから始めるキャリア教育の実践～

**1 単元名 小単元『しごとに ちょうせんしょう』(どんぐりまつり～子どもゆうびんきょくをしよう～)**

《キャリア教育の視点》

- ・ 自分の思いを伝える力【人や社会とかかわる力】

**2 単元の見通し**

仕事をする活動を通して、仕事の楽しさや難しさ、場に応じた適切な言葉づかいや行動に気づき、地域や身近な人々への思いに心をよせることができるようにする。




**3 評価規準**

	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	① 仕事をする際、その場に応じた言葉づかいや適切な行動をしている。	① 仕事をする時に気をつけることを考えたり話し合ったりしている。 ② 仕事の難しさや大変さ、喜びなどをカードに表現し、次の活動に生かしている。 ③ 地域の方のことを思い浮かべながら、感謝の気持ちを伝えようとしている。	① 仕事をするための説明をよく聞こうとしている。 ② 仕事に積極的に取り組もうとしている。

**4 本単元のねらいと基礎的汎用的能力と育成すべき資質・能力の3つ柱との関連**





		知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
人や社会とかかわる力 (人間関係形成・社会形成能力)	低学年	仕事をする際、その場に応じた言葉づかいや適切な行動をしている。	仕事をする時に気をつけることを考えたり話し合ったりしている。 地域の方のことを思い浮かべながら、感謝の気持ちを伝えようとしている。	
	自分の思いを伝える力			
自分を見つめる力 (自己理解・自己管理能力)	周りから良いところを教えてもらい、自分の良さに気づく力		仕事の難しさや大変さ、喜びなどをカードに表現している。	
課題をやりぬく力 (課題対応能力)	自分のめあてをもって実践する力			仕事をするための説明をよく聞こうとしている。 仕事に積極的に取り組もうとしている。
将来を考える力 (キャリアプランニング能力)	自分の課題に気づき、次に生かそうとする力		仕事を振り返り、次の活動に生かそうとしている。	

**5 指導計画**

		学習内容	主な学習活動	◆指導上の留意点	評価 規準	キャリア教育 基礎的・汎用 的能力					
学習課題をつかむ	1	地域の施設の仕事を知らう	○もっと知りたいことを整理する。  ○インタビューをする。 ○何を感じたか振り返る。 ○自分たちができる仕事を考える。	◆1学期に行った町たんけんを思い出し、地域の仕事に興味をもたせる。  ◆実際に仕事をしている様子を見学し、仕事をすることに興味をもたせる。	【知・技 ①】	  					
	2 3 4										
高める	5						仕事（子ども郵便局）に挑戦しよう	○子ども郵便局では、どんな仕事をするのか話し合う ・仕事内容の確認 ・仕事の日時確認 ・グループ分け ・仕事分担  ○どんなことに気をつけて仕事をしたらよいか考える。	◆1年生の時に体験したどんぐりまつりの郵便配達を仕事とすることで、見通しをもって活動をさせる。  ◆全校で取り組むどんぐりまつりの仕事をする中で、他学年との関わりを意識し、仕事をすることの意義を感じさせる。  ◆郵便配達のしごとを紹介する動画を見て、郵便の仕事内容を理解する。 <a href="https://www.post.japanpost.jp">https://www.post.japanpost.jp</a>  ◆グループ分けや役割分担を明確にすることで、主体的に仕事をしやすい環境をつくり、挑戦しようとする気持ちを育てる。  ◆名札に自分の頑張りたいことを書いたり、全校に向けて活動内容を伝えたりすることで、自分の思いを伝えられるようにする。	【主② ③】	
	6 (本時)										
	7	○子ども郵便局の仕事を通して、「できた」と振り返るための項目作りをする。  ○郵便配達をする。	◆「できた」のチェック項目を確かめることで、振り返りをしやすくする。  ◆郵便配達時の制服や、名札を着用することで、意欲付けする。  ◆自分の頑張りたいことができたなら、シールを名札に貼る。 また、できたことをお互い褒め合う時間をとる。								
	8 9 11.										



【思・表  
①】

深める	11. く 2 1	振り返りをしよう	<p>○体験を伝え合おう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動をしたグループで、お互いの良いところを伝え合う。</li> <li>・お店や施設を紹介するポスターを描く。</li> <li>・地域の施設のことや、子ども郵便局について分かったことを1年生に伝える準備をする。</li> <li>・1年生に学習したことを発表する。</li> </ul>	<p>◆<u>振り返ることで自分の課題に気づかせる。</u></p> <p>◆<u>自分ができたことが分かるように、あらかじめチェック項目を用意し、振り返りをしやすくする。</u></p> <p>◆<u>周りから自分の良いところを教えてもらうことで、自己の良さに気づきやすくする。</u></p> <p>◆<u>1年生に伝える会を開くことで、2年生は自分活動を整理し、自分たちの活動を振り返ることができる。また、1年生は、来年度の学習につなげる。</u></p>	【思・判・表 ②】	  
	2 2		<p>○「ありがとう」をつたえよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感謝の気持ちを込めた手紙を書く。</li> </ul>	<p>◆<u>仕事の様子を見学させて頂いた地域の方へお礼をしたり、ポスターを描いたりすることで、地域との関わりを深める。</u></p>	【思・判・表 ③】	

## 6 目指す児童像

### 挑戦 ( t r y )

#### 挑戦し、自分の「できる」を見付ける子ども

##### 目指す児童像に迫るための手立て

【手立て1】：仕事に『挑戦したい』と思う活動をするために

###### ○地域施設・人材の活用

1学期に行った町たんけんでは、身近な地域との関わりを感じる活動ができた。その際、お店の方から、昔の地域や本校の様子を聞いたり、児童が普段は活用していない施設があることに気が付いたりすることができた。今回は、地域との関わりをさらに深め、地域の施設やお店における仕事について、インタビューをしたり、見学をしたりする活動を通して、仕事することへの興味をもたせた。その上で、自分にもできる仕事はないか考え、主体的に挑戦したいという思いを育てたい。

###### ○仕事をするための環境作り

見通しをもって活動がしやすいように1年生の時に体験したどんぐりまつりの郵便配達を仕事として選んだ。また、校内での取組としたことで、自分たちの仕事が全校児童のためになるという実感をもたせた。さらに、全校朝会で、全校への呼びかけをすることで、仕事への責任感と意識を高めた。仕事をするときには、学級ごとにお揃いの制服、帽子、かばんを着用することで仲間意識をもたせた。また、自分の頑張りたいことを名札に明記することで、仕事が日常とは違う大切な活動だと感じられるように工夫した。

【手立て2】：自分の「できる」を見付けるために

###### ○話し合い活動の工夫

自分の思いを周りに伝えることが苦手な児童のために、グループ分けや役割分担を明確にすることで、主体的に仕事をしやすい環境をつくった。【個人→グループ→全体】の流れで、話し合いをすることで、個人の意見を尊重しつつ、できない部分は、グループで補えるようにした。

###### ○振り返りの工夫

《個人》

自分の頑張りたいことを名札に明記し、常に目標意識をもたせた。仕事をするたびに振り返り、できたらシールを貼るといふ、自分が「できる」という確認を短いスパンでできるようにした。さらに、グループ内で、互いの良いところを教え合う時間をとることで、自己の良さに気づきやすくなった。

《全体》

仕事をする前に、予め「できた」のチェック項目を作った。それにより、集団としての目標をはっきりさせ、振り返りをしやすくなった。

## 7 本時の学習（22時間扱いの6時間目）

(1) 本時の目標（その教科の目標）

仕事をする時に気をつけることを考えたり話し合ったりすることができる。

(2) 展開

段階	学習活動	教材, 教具, 学習形態	指導・支援 (○) 評価 (●)
導入 10分	<p>1 仕事『子ども郵便局』で郵便配達をすることを思い出し、仕事内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事の流れ（回収→仕分け→消印→配達）</li> <li>・グループ活動の仕方</li> <li>・仕事をする日時</li> </ul>	<p>【全体】 ・ワークシート</p>	<p>○ワークシートを使い、学習の振り返りや見通しをもった活動ができるようにする。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>どんなことに気をつけて仕事をしたらよいか考えよう</p> </div>			
展開 30分	<p>2 どんなことに気をつけて、仕事をしたらよいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集めたハガキを丁寧に扱いたい。</li> <li>・仕事の日や時間を忘れないようにしたい。</li> <li>・自分の役割をしっかりと果たしたい。</li> <li>・楽しんで仕事をしたい。</li> <li>・言葉使いに気をつけ、挨拶をしっかりとしたい。</li> <li>・相手のことを思って仕事をしたい。</li> </ul> <p>3 仕事をするときに気をつけることから、自分が一番がんばりたいことを発表する。</p>	<p>【個人】 ↓ 【全体】</p> <p>【個人】 ↓ 【グループ】 ↓ 【全体】</p>	<p>○地域の施設見学の時に気づいた、仕事をするときに大切なことを思い出させる。</p> <p>○配達される側の立場に立って、考えられるようにする。</p> <p>○仕事の時系列を確かめながら、気を付けることを考えさせる。</p> <p>○<u>名札に自分の頑張りたいことを書き、自分の思いを伝えられるようにする。</u></p> <p>○話型を提示して発表させる。</p>
まとめ 5分	<p>4 次時は、郵便配達の準備を知ることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事の練習</li> <li>・ポストの設置</li> <li>・全校への呼びかけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事着（揃いのTシャツ）</li> <li>・名札</li> </ul>	<p>●仕事をする時に気をつけることを考えたり話し合ったりしているか。【思・判・表①】</p>

## 8 板書計画

10月 ○日 ( )

しごとにちょうせんしよう ～子どもゆうびんきょく～

◎どんなことに気をつけてしごとをしたらよいか考えよう。

【かいしゅう】

- ・わすれないようにする。
- ・ハガキをおとさないようにする。

【しわけ】

- ・クラスをまちがえないように分ける。

【けしいん】

- ・日づけを正しく書く。

【はいたつ】

- ・クラスをまちがえないようにとどける。
- ・グループできょうりょくする。
- ・えがおであいさつをする。
- ・ことばつかいに気をつける。
- ・ろうかをはしらない。

【ぜんたい】

- ・じぶんのしごとをわすれないようにする。

- ・はがきを大切にする。

- ・楽しんでしごとをする。



★じぶんが一番がんばりたいこと

じぶんの思いをつたえよう

## 成果と課題

### 1 成果

#### 【手立て1】 仕事に『挑戦したい』と思う活動をするために

- ・地域の施設やお店における仕事について、インタビューをしたり、見学をしたりする活動を通して、仕事をする事への興味をもつことができた。
- ・1年生の時に体験したどんぐりまつりの郵便配達を仕事として選んだことで、見通しをもって活動ができた。
- ・お揃いの制服で活動することで、「仕事をする」という気持ちに切り替わり、責任をもって仕事に取り組めた。
- ・自分の頑張りたいことを名札に明記することで、自分の目標を明らかにし、その目標に向かって活動ができた。
- ・1年生では家族のために仕事をする活動があったが、今回は学校全体のために仕事をする事ができた。

#### 【手立て2】 自分の「できる」を見付けるために

- ・自分の思いを周りに伝えることが苦手な児童のために、【個人→グループ→全体】の流れで、話し合いをし、小グループで伝え合いをすることができた。また、友達の意見を聞いた児童が相手の目標に対し「頑張れ。」と拍手でエールを送ったことで、やる気につながった。また、全体でも発表したいという意欲にもつながった。
- ・自分の頑張りたいことを名札に明記することで、自分の目標をすぐに確認することができた。できたらシールを貼ったので、目標を達成したい、また、達成できたという思いにつながった。また、「自分の思いを周りに伝える」ことで、「人や社会とかかわる力」の成長につながった。
- ・グループ内で、互いの良いところを教え合う時間をとることで、自己の良さに気付くことができた。また、相手の良さを自分にも取り入れようという思いをもつことができた。。

### 2 課題

#### 【手立て1】 仕事に『挑戦したい』と思う活動をするために

- ・仕事で回収や仕分けなどの作業をする際、「丁寧にする。」「廊下を走らない。」などを目標にしている児童が多くいた。「届けた人を笑顔にしたい。」という気持ちに迫った目標をもった児童もいたが、少なかった。仕事は、人や社会との関わりが大切であるので、相手を思いやる目標がもっともてるとよかった。

#### 【手立て2】 自分の「できる」を見付けるために

- ・グループで活動することで互いに補い合い、仕事を円滑に進めることができたが、実際には個人差がある。また、自分なりにはできたと感じていても、十分でない場合もあり、それに自分では気づきにくい。個人によって差があることから、達成度が異なってもよいとしたい。
- ・簡単と思った作業が、実際は自分にとっては難しかったと気づいた児童がいた。例えば、消印を押す作業では、丁寧に仕事に取り組んだが、思ったよりも難しく感じ、うまく作業ができない児童がいた。「できた」と感じられなくても、自分の課題に気づき次につなげる力としていきたい。